

香川県 令和8年度当初予算

予算総額 5,222億円

『人生100年時代のフロンティア県』の実現

住み続ける
香川づくり

稼げる
香川づくり

にぎわい創出

防災・減災対策



令和8年度 当初予算の概要

R8年度 当初予算規模 **5,222億円**
(R7当初 **4,967億円**)

前年度比 **+5.1%**

参考) 地方財政対策 + 5.0% (水準超経費を除く)

住み続ける香川づくり

【出生数反転パッケージ】 125百万円

出生数反転に向けた市町交付金事業 100百万円

出生数減少の流れを増加へと反転させるための市町の取組みを支援

選ばれる県立高校魅力向上事業 53百万円

県立高校において、特色ある教育プログラムや魅力発信等を実施

香川でがんばる若者の増加 125百万円

若者の県内定着等に関する実効性のある取組みを行う

香川県民の日創設事業 87百万円

健康寿命の延伸に向けた健康づくり

46百万円 要介護の主要要因に応じた対策を強化

ケアマネジャーの研修受講支援 1百万円

ひとり暮らし高齢者等への支援
3百万円

にぎわい創出

【県立アリーナを核としたサンポート

周辺のにぎわい創出事業 515百万円

港湾施設利活用検討・促進事業 136百万円

- ・プロムナードにおいて多目的広場を整備
- ・新たなフォトスポットとなるモニュメントを設置
- ・港湾緑地を活用したイベントを企画・運営

高松中心市街地プロムナード化推進事業 370百万円

サンポート高松地区から高松中央商店街に向けた魅力的な歩行空間整備の開始

JR高松駅周辺交差点の信号機を歩車分離運用、玉藻公園南側に定期式信号機を設置

スーパーヨット誘致推進事業 9百万円

高松港の専用岸壁整備等を機に、世界からのスーパーヨット誘致を展開

「瀬戸の玄関口」から始まる香川ぐるっと周遊プロジェクト事業

1名から催行のガイド付き県内周遊ツアー等を新たに造成 44百万円

稼げる香川づくり

企業誘致助成金の制度拡充

情報通信関連産業の育成・

誘致施策の充実 137百万円

Setouchi-i-Base オフィス新設・WEBサイト制作

自動運転社会実装

支援事業

60百万円

スタートアップ支援強化

35百万円

県経済発展に向けてスタートアップのロールモデル創出

外国人に対する防犯・

交通教育事業 30百万円

県警OBが、事業所等において防犯・
交通安全教室等を実施

【農畜水産業の推進】 479百万円

「担い手」の確保対策の強化、気候変動に対応した生産技術の開発、農地利用の調整や集約化の支援など

脱炭素社会に向けた地球温暖化対策

15百万円

かがわスマートハウス促進事業 (断熱改修助成)

未来投資事業
新規分 22億円
[一般財源 10億円]

令和7年度継続分
18億円 [一般財源 9億円]

防災・減災対策

【新たな地震・津波被害想定を踏まえた防災・減災対策の強化】

410百万円

避難所生活環境整備事業

25百万円

県で備蓄する避難所関連物資を増強

香川県災害対策本部機能強化事業 154百万円

県庁本館5階の災害対策本部室や、12階会議室等を改修

信号柱耐震対策等事業

96百万円

信号柱を更新し、信号機に発電機を整備

女性地域防災人材養成事業

3百万円

避難訓練等ができる人材を養成

水門等防災デジタル技術活用事業

59百万円

河川・海岸・港湾の水門を自動化・遠隔監視化

感震ブレーカー設置促進事業

4百万円

感震ブレーカーの有効性を普及啓発

住み続ける香川づくり

- ・出生数反転パッケージ
- ・学びの環境整備と確かな学力の育成
- ・香川でがんばる若者の増加
- ・「香川県民の日」創設
- ・健康寿命の延伸に向けた健康づくり
- ・地域医療を担う医師の確保
- ・介護・障害福祉人材の確保・定着
- ・ひとり暮らし高齢者等への支援

出生数反転パッケージ

2,832 百万円

※主な事業を掲載

出生数の状況



出典：香川県人口移動調査



事業名の

青字は★新規事業

赤字は☆未来投資事業

★★新規・未来投資事業

※ 次頁以降も同様

▶ かがわで暮らしたい、の実現

■ 若者の県内定着促進 112 百万円

■ 県内産業のPR 9 百万円

※「香川でがんばる若者の増加」に掲載

■ 若者のライフデザイン支援 7 百万円

・仕事と子育ての両立体験 5 百万円

若者が企業とそこで働く子育て家庭を訪問するインターンシップを通じて、仕事と子育ての両立を体験



・若者のライフデザイン講座 2 百万円

▶ 出会い・結婚したい、の実現

■ 出会い・結婚の機会の最大化 10 百万円

★★香川の若者発 「出会い・恋愛・結婚」の応援

県内の若者が主体的に企画したイベント

マッチングアプリ事業者や結婚相談所と連携した情報発信 等



■ 結婚・子育てを応援する機運醸成 49 百万円

・E N-MUSUかがわを通じた結婚支援 48 百万円

★★10周年記念新規会員獲得キャンペーン等の実施

・結婚・子育て応援情報発信 1 百万円

▶ 市町と連携した取組みの推進

▶ こどもを生み育てたい、の実現

経済的負担の軽減

・子ども医療費助成 1,268 百万円

・第3子以降(中学生)の学校給食費無償化 112 百万円

・県産農水産物の学校給食利用拡大 337 百万円 (★幼稚園・保育所等を対象に追加)

[参考：経済的負担の軽減に関連する事業]

★学校給食費(小学生)負担軽減 2,470 百万円

★高校無償化 5,470 百万円

子育て拠点の充実

・かがわ子育てステーション 4 百万円

★新婚世帯等も気軽に訪問できる新たな仕組みづくり



★☆ファミリーサポート活動の活性化 3 百万円

ボランティア(提供会員)による育児の援助を受ける際の利用料金引下げや、ボランティアの報酬引上げを行う市町への補助

・さぬきこどもの国のリニューアル

ロープネットゾーンの整備(西ウイングエリア)

「みんなで子育て」の推進

★☆子育て応援のための環境整備支援 11 百万円

・対象：店舗等における授乳室、トイレ内ベビーチェア等の整備

・補助率等：2/3（上限30万円/1施設あたり）

・育児期を通じた多様な働き方の推進 6 百万円

短時間正社員の新たな雇用に取組む中小企業等への助成

保健・医療の充実

★プレコンセプションケア等の推進 10 百万円

若い世代への性と健康に関する出前講座(県内の高校生、大学生等を対象)及び相談窓口の充実 等

・不妊治療助成 26 百万円・産後ケア事業 23 百万円

★★出生数反転に向けた市町交付金 100 百万円

各市町が地域の課題等に対応するための取組みを総合的に支援

学びの環境整備と確かな学力の育成

636百万円
(R7: 565百万円)

➤ 個に寄り添った指導体制の充実と教員の働き方改革

☆特別支援教育指導体制充実事業 226百万円

特別支援学級在籍の児童生徒がそれぞれの状況に応じた指導を受けることができるよう、特別支援学級の指導体制の充実を図る

■ 初任者教員の指導・サポート充実事業 142百万円

初任者教員の円滑な業務をサポートするため、学級・教科指導方法に対する指導・助言や業務支援を行うベテラン教員を配置

■ 教員業務支援員配置事業 106百万円

教員の業務負担を軽減するため、教員の業務を支援する支援員を小・中学校に配置

■ 教職員の育休取得促進事業 91百万円

育児休業を取得する教職員が在籍する小・中学校に業務負担軽減を図るために人材を配置

➤ 県立高校の魅力向上 ・発信

★☆選ばれる県立高校魅力向上事業 53百万円

県内外の生徒に選ばれる学校づくりを進めるため、各校において、生徒の資質・能力の向上を図る特色ある教育プログラムや魅力発信等を実施

- ・県内大学等との共同研究、商品開発
- ・国内最先端研究施設への訪問、交流
- ・地元企業等と連携した商品開発、経営実習

★☆県立高校の小・中学生への 魅力発信事業 2百万円

県立高校の専門学科への理解促進と志願者増加を図るため、高校生が小・中学生を対象として出前授業やイベント等を実施し、日々の暮らしを支える県内の仕事に関連した各分野の魅力を伝える

➤ 確かな学力の育成

★☆中高連携アントレプレナーシップ 教育推進事業 2百万円

地域社会への理解と参画意識を高めるため、中学生と高校生が協働で、地域課題の解決策を探るアントレプレナーシップ教育の実証研究を行い、成果を県内各校へ展開

☆社会に開かれた学校教育創造事業 10百万円

社会に開かれた教育課程の実現に向けて、民間事業者と連携し、知的好奇心を刺激するための実証研究を行う

■ 英語力向上と授業力向上の一 体 充実事業 4百万円

オンラインによる国際交流を通じた生徒の英語のアウトプット機会の創出と教員の授業改善を図る



※主な事業を掲載

香川でがんばる若者の増加①

503百万円
(R7:415百万円)

▶県内就職への誘導

■奨学金を活用した大学生等の地方定着促進事業 (日本学生支援機構の奨学金) 11百万円

★☆新制度の創設 ※現行制度と併存

県内企業との連携による奨学金の返還支援額の増額や、支援対象の拡大

	現行制度	新制度
対象 奨学金	第一種(無利子)	第一種(無利子)+第二種(有利子)
定員	110名	定員無し
返還 支援額	【県内特定分野の場合】 15千円×貸付月数 <県単独の支援>	【登録企業へ就職の場合】 20千円~40千円※×貸付月数 ※企業が選択し、県と企業が折半
学部・ 就業分野 要件	理工系学部への進学、 特定7分野への就業	学部・就業分野の要件は撤廃

■大学生等奨学金事業(県独自の奨学金) 145百万円

★☆制度の拡充

奨学金の返還免除額の増額や貸付定員の拡大、県内企業との連携による返還免除制度の導入

	現行制度	拡充後
定員	80名	120名 (通常100名+県内大学枠20名/年※) ※県内大学枠では収入要件を緩和
返還 免除額	【県内就職の場合】 15千円×貸付月数 <県単独の支援>	【県内就職の場合】 25千円×貸付月数 <県単独の支援> + 【登録企業へ就職の場合】 企業が 5千円~15千円※×貸付月数 を上乗せして免除 ※企業が選択

▶県内大学等への支援

★☆かがわの未来を担う大学生・専門学生等定着促進事業 112百万円

県内大学等や県内専修学校・各種学校が実施する学生等の県内定着を促進する取組みを支援

・補助対象経費:

学生等の県内定着促進に向けた新たな事業の実施に要する経費

・配分基準額:

入学者数、県内就職者数等に応じて配分

・補助率: 10/10以内(各校配分額の範囲内)

■専修学校各種学校魅力発信

促進事業 5百万円

- 職業体験と専攻について紹介する「専各キャラバン」の派遣
- 職業体験講座の開催
- など



▶県立大学設置・拡充の検討

■県立大学設置・拡充に関する検討事業

1百万円

主な事業を掲載

※出生数反転パッケージの再掲について
若者の県内定着促進 = 県内大学等への支援のうち★☆事業(112百万円)

香川でがんばる若者の増加②

503百万円
(R7:415百万円)

▶ 県内産業のPR

■ 若者の就職支援拠点事業

20百万円

「香川県就職・移住支援センター（ワークサポートかがわ）」の運営を通じて、県内外の学生等における県内就職と県内企業における正規雇用支援に繋げる。

- ・就職イベント「かがわーくフェア」の開催

★ 香川大学と連携した企業見学 バスツアーの実施

★★インターンシップ導入等支援事業

県内企業のインターンシップ導入及び改善に向けて、専門家による導入等支援セミナーの開催や伴走型個別支援を行う。



※出生数反転パッケージの再掲について 県内産業のPR = インターンシップ導入等支援事業(9百万円)

▶ 小さい頃からの意識チェンジ

★☆中高連携アントレプレナーシップ 教育推進事業

2百万円

中学生と高校生が協働で、地域課題の解決策を探るアントレプレナーシップ教育の実証研究を行い、成果を県内各校へ展開

★☆県立高校の小・中学生への魅力 発信事業

2百万円

県立高校の専門学科への理解促進と志願者増加を図るために、高校生が小・中学生を対象とした出前授業やイベント等を実施

■ キャリア教育充実事業 12百万円

- ・県内高校において、外部講師による出前授業の実施
- ・インターンシップ、高校生向け企業説明会の実施
- ・かがわ産業教育フェアの開催
- ・地域企業等と連携し、商品開発を通じた職業観の醸成

★☆県内企業の技術力やものづくり企業の魅力を伝えるため、高校生等を対象に、ラボ＆ファクトリーツアー等を実施

▶ 若者・女性に選ばれる香川へ！

■男女共同参画センター運営事業

17百万円

性別に関わらず誰もが個性と能力を発揮できる社会の実現を目指し、ジェンダーギャップの解消を行う拠点として運営する。

- ・場 所：香川県社会福祉総合センター 3階
- ・開館時間：平日 9時30分から18時まで
(年末年始除く)
- ・令和8年4月2日(木)オープン



「ふらっとぴあ香川」は誰もが“ふらっと”立ち寄れる場所。仲間との交流、待ち合わせ、学校帰りの自習の場としての活用も歓迎します。Wi-Fiも完備していますので、気軽にご利用ください。

 ふらっとぴあ香川

(※)愛称の「ふらっとぴあ香川」には、お互いに認め合い、対等（フラット）な関係で歩んでいける社会を目指す中で、ふらっと立ち寄れる施設（ぴあ：仲間、中核拠点）という意味が込められています。

【今後のスケジュール】

- ・2月下旬：公式ホームページの開設
- ・4月2日：オープン（開所式後に業務開始）
- ・6月中：オープニング記念講演
- ・6月中：各種講座の開始（女性防災人材養成など）

「香川県民の日」創設

★☆ 香川県民の日創設事業 87百万円

「香川県民の日」は12月3日です！

1888年に香川県が
愛媛県から独立した日

県民に、広く、ふるさとの記憶や感情を呼び起こし、思いを深めていただくことを目的に創設した「香川県民の日」の取組みに、県民の皆様に主体的・積極的に参加してもらうことで、香川の魅力を改めて知っていただき、ふるさとへの愛着と誇りを高めてもらうもの。

■主な事業内容

- ・「香川県民の日」創設記念式典を

県民参加型で実施

- ・各地域の民間事業者や市町等が実施する
「香川県民の日」関連事業への補助
県下全域で香川の魅力に触れる機会や地域
での活動・交流を深める取組みを推進

- ・“かがわのものがたり（仮称）”の発行
香川の歴史、文化、産業等の魅力を物語
としてまとめた、
“かがわのものがたり（仮称）”
を発行し、学校等で活用

- ・「香川県民の日」の12月3日は、
県立ミュージアム、東山魁夷せとうち美術
館、栗林公園など県有施設の無料開放を
実施

要介護の主要要因に応じた対策を強化

要介護要因
第2・3位

認知症の対策強化

■ 認知症対策 67百万円

認知症予防推進事業

- 「認知症予防プログラム」の全市町での活用に向けて、市町介護予防教室等に理学療法士等の専門職を講師として派遣

★地域での主体的な実践に向けて、講師の養成研修により講師数を拡充

★★加齢性難聴対策推進事業

- 高齢者に介護予防教室等への参加を促し、参加した高齢者のうち、補聴器使用が必要と診断された者に対して、補聴器購入費の一部を補助

- ① 介護予防教室等での普及啓発・簡易検査
- ② ハイリスク者の抽出、受診勧奨
- ③ 耳鼻科医が補聴器使用の要否を診断
- ④ 補聴器購入費の一部を補助

1日のプログラム構成	
座学(30分)	栄養、難聴など
運動(40分)	認知症予防運動
知的(20分)	計算、クイズなど



事業の流れ

健康行動への変容・定着を促す仕掛けづくり

★★ 健康づくり支援体制整備事業 15百万円

<企業との連携>

- 歩きやすい服装での通勤や勤務を促す「スニーカービズキャンペーン」を賛同企業と連携のうえ実施



その他 健康づくり事業

- がん対策・検診受診率向上
- 小児生活習慣改善事業

22百万円
16百万円

■ 健康づくり推進アドバイザー事業

- かがわ健康ポイント事業(マイチャレカガわ!)
- 歯周病早期発見支援事業

9百万円

7百万円
2百万円 など

生活習慣病(脳血管疾患等)や骨折・転倒の対策強化

■ 生活習慣・健康状態見える化事業 12百万円

- 野菜摂取量や骨密度の測定器を活用した健康無関心層への「気づき」の機会を創出

★イオンモール高松の「かがわ健診プラザ」に見える化機器を常設し、健診の流れに組み込む形での見える化測定の実施



■ 市町での取組支援強化 9百万円

- 骨折予防を推進するため、全市町での骨粗しょう症検診の導入と受診率向上を支援

- ① 在宅保健師等による人的支援
- ② 有識者による保健指導等に係る技術的支援

★③ 骨粗しょう症の検査・治療に係る地域の医療体制を強化

若者や働き盛り世代
へのアプローチ強化

<県内大学との連携>

大学祭など県内大学・短大の地域開放イベントに併せ、「健康とウェルビーイング」を共通テーマに、各校の特色を生かした内容で開催する県民公開講座への補助

香川短期大学と連携し、健康課題に応じた推奨メニューの開発や試食会の開催、宇多津町の多世代交流センターでの高齢者や子育て世代を対象とした推奨メニューの試食会と併せて栄養指導等

地域医療を担う医師の確保

地域偏在や若手医師の県外流出などの状況を踏まえ、総合的な医師確保対策を実施

医学生支援事業

132百万円

卒業後、県内の公立病院等で一定期間、医師の業務に従事する意欲ある医学生に対して修学資金を支援。

- 貸付額：

(地域枠) 1人当たり 12万円／月

➡ 新規貸付枠を令和8年度入学者から1名増

★ (公募枠) 1人当たり 10万円／月

➡ 香川大学と連携して、医学部入学後の公募による貸付制度を創設

- 返還免除：貸付期間の1.5倍の期間、地域医療に従事することで返還免除



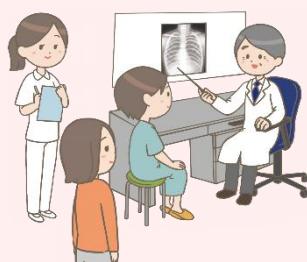
☆臨床医確保強化事業

45百万円

県内医療機関の専門研修プログラムに参加して『専門医』の資格取得を目指す医師に研修奨励金を支給。

- 内科、外科、小児科、総合診療

1百万円／人



- 産婦人科、救急科

2百万円／人

介護・障害福祉人材の確保・定着

介護

★☆介護支援専門員実務・再研修負担軽減事業

1百万円

- 研修受講料を半額に减免
 - 介護支援専門員(ケアマネ)になるために受講が必要な実務研修、再研修の受講料を半額に。
(例) 実務研修
54千円→27千円
 - テキスト代を支援

どこよりも安く！

受講者の負担は
全国最小水準に



障害福祉

意思疎通支援者への派遣費用の見直し

4百万円

謝金を3千円／時間に
引上げ
(現行)

手話通訳者
2,500円／2時間以内
ほか

活動しやすい
環境づくり

人材の定着へ向けた環境整備

★介護人材確保に向けた拠点構築事業 15百万円

介護生産性向上総合相談センターを設置

- 人材確保の取組みに係る相談対応
- 生産性向上に向けた伴走支援
- カスハラ相談窓口 ほか

定着しやすい
職場環境へ！

★待遇改善加算の取得促進支援事業 3百万円

待遇改善加算の取得促進を図るため、

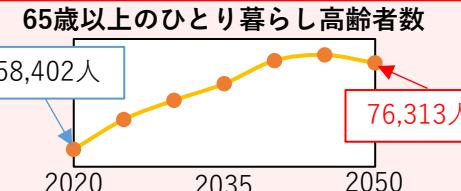
- 相談窓口の設置
- セミナーの開催
- 事業所への個別指導を行う

働きやすい
職場環境へ！

ひとり暮らし高齢者等への支援

- 【本県の現状】
・65歳以上のひとり暮らし高齢者数：58,402人（2020年）
→ 2050年には17,911人増の76,313人
・65歳以上の孤立死者数※：106人（2024年）

※自宅において亡くなった65歳以上のひとり暮らし高齢者のうち、発見されるまでに死後8日以上経過していたと推認される件数



国立社会保障・人口問題研究所「日本の世帯数の将来推計」より

★☆ひとり暮らし高齢者等地域共生モデル事業 15百万円

ひとり暮らし高齢者等の孤独や孤立死による社会課題の発生を防止するため、ひとり暮らし高齢者等の生活状況や社会的つながり、支援ニーズ等を把握するとともに、地域全体で支える支援の在り方等を検討

▶ひとり暮らし高齢者等の生活状況を把握

- ・住民基本台帳データや介護・障害といった福祉サービスのデータを活用して対象者を特定
- ・民生委員や市町社会福祉協議会等による訪問等で対象者の生活状況や支援ニーズも把握



民生委員等による訪問

▶地域見守り活動の強化

- ・民生委員や民間事業者等に加え、新たに福祉協力員、子ども民生委員等のボランティア等による見守り活動を実施
→新たな主体を加え、特定化されたひとり暮らし高齢者等の見守り活動の体制を再構築
(副次的效果：民生委員の負担軽減)



民生委員活動に参加する子ども

▶ひとり暮らし高齢者等への支援

- ・介護予防教室の実施場所や回数を増やすなど高齢者の外出機会を創出し、社会的つながりを強化
- ・終活ノートの必要性の説明や書き方・保管をサポート
対象者への直接の働きかけ、各種申請時等の勧奨などで実効性を確保
- ・病院・施設への入院・入所の際の手続等を支援
→対象者の必要な医療・福祉サービスの享受

- ・もしものときの連絡先
- ・もしものときの備え
(預貯金、加入保険等)
- ・伝えておきたいこと など



終活ノート

稼げる香川づくり

- ・企業誘致施策の強化
- ・スタートアップ支援強化
- ・Setouchi-i-Baseオフィス新設
- ・かがわ農畜水産業の推進
- ・幹線道路ネットワークの構築
- ・将来にわたる地域公共交通の確保・維持
- ・担い手確保・人材不足対策パッケージ
- ・豊かな海づくりの推進
- ・脱炭素社会に向けた地球温暖化対策

企業誘致施策の強化

■ 香川県企業誘致条例に基づく助成金

1,936百万円

① 企業誘致助成金制度（現行）

・補助率等：（工場）

投下固定資産額10%(1回目)、5%(2回目)

新規雇用者数×50万円(11人～)、100万円(51人～)

・補助上限：5億円

② カーポンニュートラルポート形成支援助成金

③ 民間事業者による工業団地

整備に対する助成

★☆助成金の制度拡充

投資規模や経済波及効果の大きい

大規模投資に対して支援

・助成要件

①投下固定資産額200億円以上

②新規常用雇用者数100人以上

・助成率：投下固定資産額×15% 　・補助上限：50億円

企業立地件数					
年度	R3	R4	R5	R6	R7.9月末
立地件数	37件	23件	25件	56件	61件

Setouchi-i-Baseオフィス新設

★☆Setouchi-i-Base機能強化事業 137百万円

情報通信関連分野での事業の創出・拡大等に取り組む事業者への支援や会員間の交流・ビジネスマッチングを促進するため、本県のオープンイノベーション拠点であるSetouchi-i-Baseの機能強化を図る。

 Setouchi-i-Base

スタートアップ支援強化

■ 機運醸成

■ 抱点確保支援

■ 相談・伴走支援

■ 成長加速化支援



これまでの上記取組み成果を踏まえ、R7年度から取り組むスタートアップのロールモデル創出をさらに強化

★☆香川発スタートアップ販路拡大等支援事業

35百万円

★人手不足を解消するロボットなど、香川発スタートアップの製品等を導入して課題解決を図る県内事業者の取組みに対して支援

<製品導入>

補助率1/2、補助上限 200万円

<レンタル、サービス利用>

補助率2/3、補助上限 100万円

- ・場所：高松シンボルタワー3階（現・かがわプラザ）
- ・事業概要：貸しオフィス整備、Webサイトのリニューアル等
- ・貸しオフィス入居対象者：
情報通信関連事業者等
- ・開所時期：
令和9年3月（予定）



かがわ農畜水産業の推進

農畜水産業の未来を拓き、次世代へ継承するため 「攻め」・「守り」の両面から施策を展開

▶ 攻め（儲かる！魅力と未来ある農畜水産業の実現）

☞ 次世代の担い手の確保・育成

- | | |
|--|-------|
| ★☆ミドルエイジ新規就農支援事業 | 16百万円 |
| ★☆浜デビュー応援事業
…国の支援対象外である新規就業者に対する支援 | 2百万円 |
| ★☆企業等農業参入・誘致促進事業
…新たに農業に参入する企業等に対する支援 | 30百万円 |
| ★☆農業大学校整備事業
…農業大学校の建替えに向けた基本計画の策定等 | 31百万円 |



☞ 儲かる！「かがわ型農畜水産業」を実現

- | | |
|--|-------|
| ★☆ハマチ養殖気候変動等対応生産技術開発事業
…品質向上技術の開発や種苗生産技術の開発など | 50百万円 |
| ★☆水稻生産性等向上対策事業
…新技術の開発や低成本生産技術の導入等を支援 | 35百万円 |
| ★☆園芸産地気候変動対応支援事業
…夏季の高温対策に必要な資材等の導入支援等 | 20百万円 |
| ★☆酪農生産性向上対策事業
…生乳生産における乳質の底上げと品質向上への支援 | 12百万円 |

▶ 守り（地域の農畜水産業の推進）

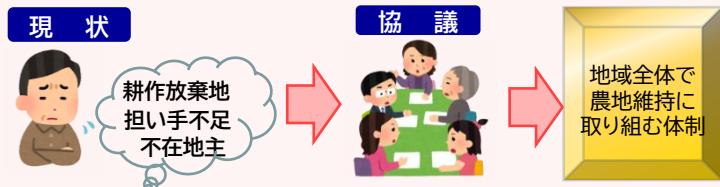
☞ 農村を守り、地域を支える農業の推進

- | | |
|--|--------|
| ★☆農業機械等共同利用促進事業
…レンタル用農業機械等の導入支援 | 200百万円 |
| ★多様な農業人材サポート事業
…兼業農家など「多様な農業人材」への支援 | 33百万円 |
| ★農業支援グループ活用促進事業
…農業支援グループ等の確保・育成 | 34百万円 |



☞ 農地・農業生産基盤の保全管理等を促進

- | | |
|--|-------|
| ★☆かがわ版まるっと中間管理支援事業
…地域で一元的な農地の利用調整や集約化を支援 | 40百万円 |
| ★☆水土里ビジョン策定支援事業
…「水土里ビジョン」策定に要する経費を支援 | 57百万円 |



幹線道路ネットワークの構築

長期ビジョンを踏まえ、幹線道路ネットワークの構築のために道路整備や新規事業の具体化に必要な調査・検討を行う

空港連絡道路の整備 1,388百万円

県道円座香南線の整備（新規工区に着手）

国道32号などを跨ぐ西山崎高架橋を南に延伸する中間南工区に着手することにより、整備中の香南工区と併せて高松空港手前までノンストップでの通行を可能とする。



☆幹線道路ネットワーク整備の推進 100百万円

上位計画

▶ 香川県幹線道路
ネットワーク
整備長期ビジョン

構想段階

▶ 事業の効果・必要性を
調査して概略計画として
とりまとめる

計画段階

▶ 道路線形・幅員構成・
構造の決定・都市計画等

事業段階

▶ 事業着手

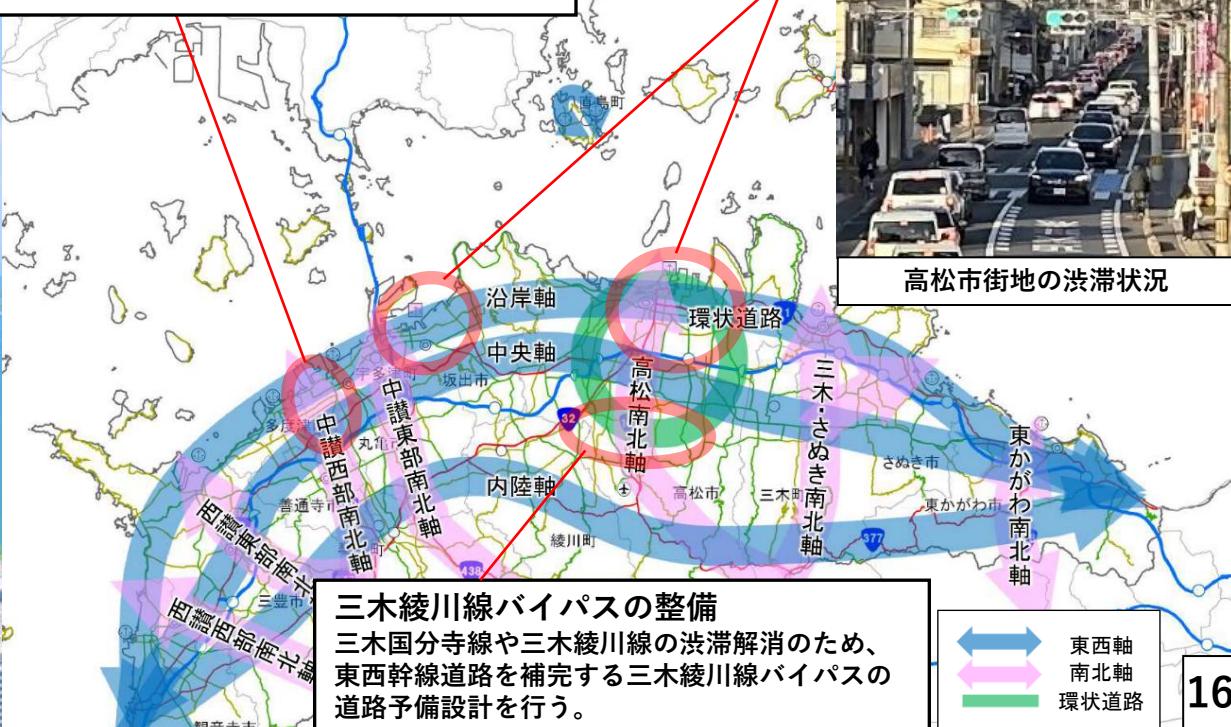
中讃地域の道路整備

善通寺インターからさぬき浜街道を結ぶ南北軸のミッシングリンクを解消するため、道路予備設計を行う。

高松市街地、坂出市街地における渋滞対策
混雑区間や主要渋滞箇所を解消するため、都市計画
道路の整備や交差点改良の検討を行う。



高松市街地の渋滞状況



三木綾川線バイパスの整備

三木国分寺線や三木綾川線の渋滞解消のため、東西幹線道路を補完する三木綾川線バイパスの道路予備設計を行う。

東西軸
南北軸
環状道路

将来にわたる地域公共交通の確保・維持

★☆自動運転社会実装支援事業 60百万円

持続可能な公共交通ネットワークの構築に向けて、自動運転の社会実装に取り組む市町に対して支援するもの。

- ・補助対象経費：自動運転車両の購入に要する費用
- ・補助率：1／2
- ・補助上限額：1市町あたり上限3,000万円

運転士不足などの
課題解決に期待



※三豊市 実証実験使用車両（自動運転EVバス）

過去に実証実験等の
実績がある県内市町
【計4市町】

高松市（R5,6年度）
坂出市（R7年度）
三豊市（R6,7年度）
土庄町（R6年度）

県内市町でも実証実験の
取り組みが拡大

<国目標（令和9年度まで）>

「交通空白解消・集中対策期間」とし、自動運転を全国に展開すること(100か所以上)を目指す。

県内における自動運転の社会実装を速やかに進めるため、
自動運転の社会実装（恒久実施）に向け、ネックである
車両購入を重点的に支援。

☆ 地域公共交通アップデート支援事業 90百万円

香川県地域公共交通計画に掲げる目標の実現に向けた特に緊急度・優先度が高い市町の取組みに対して補助するもの。

- ・補助対象事業：

①新技術・デジタル技術の活用等
(バスロケーションシステム、
運行管理支援システムの導入等)

②公共ライドシェア、
日本版ライドシェアなど
新たな移動サービスの導入・拡充
(予約・配車システム、車両の導入等 ※自動運転車両除く)

③駅等の環境整備、パークアンドライド駐車場の整備、
★交通モード間の連携強化（案内表示や時刻表の
整備等）など

★④安全性向上に資する取組み（第4種踏切の解消等）

- ・補助率：1／2（1市町あたり上限1,000万円）

令和7年度交付決定
【計6市町】

・バスロケーションシステム
導入事業
・駅のパブリックスペース
整備事業

等に補助



※JR高瀬駅 パブリックスペース
(令和7年12月24日完成)

担い手確保・人材不足対策パッケージ①

2,472百万円
(R7: 2,206百万円)

※主な事業を掲載

▶ 全世代

■県内企業人材確保拠点 (ワークサポートかがわ) の運営 58百万円

場所: サンポート高松マリタイムプラザ2階
時間: 平日8:30~17:15
(第2・第4土曜日開所)

ワークサポート
かがわ



▶ 女性

■女性・高齢者等就労相談拠点運営事業 25百万円

- 「女性・高齢者等就職支援センター」を設置し、常設の専用窓口での就職相談や個別セミナーの開催、キャリアカウンセリングなど新規就業支援を実施

■女性人材正規雇用促進事業 5百万円

- 子育てを応援する企業からの求人の開拓や、相談対応などを行うコーディネーターをワークサポートかがわに配置

▶ 高齢者

■高年齢者就業機会確保事業 5百万円

- シルバー人材センターの円滑な運営を支援

▶ 障害者

■障害者就職支援事業 38百万円

- 法定雇用率未達成企業等への訪問、障害者雇用に向けたコンサルティング、定着支援など

■農福連携活動推進事業

(★トレーナー施設による現地指導) 5百万円

★農福連携を熟知した障害者就農施設の現場指導による未経験施設に対する農作業訓練

▶ 県外人材

★地域おこし協力隊を活用した人材確保・定住促進事業 72百万円

- 産業担い手型地域おこし協力隊(新規10名)を委嘱

#香川県
#地域おこし協力隊
#就農支援クリエイター
#香川県農地機構
#新規就農



▶ 外国人

■海外大学等との連携支援 27百万円

- 覚書(MOU)締結など

■安全安心な生活支援 30百万円

★☆外国人に対する防犯・交通教育事業

- 県警OBが、事務所等において防犯・交通安全教室等を実施



担い手確保・人材不足対策パッケージ②

2,472百万円
(R7: 2,206百万円)

※主な事業を掲載

▶ 農業人材

★★ミドルエイジ新規就農支援事業
16百万円



▶ 漁業人材

★★浜デビュー応援事業
2百万円



▶ 林業人材

かがわの森林を守り育てる人づくり事業
11百万円



▶ 建設業

魅力ある建設業推進事業
17百万円



▶ 医療人材

医師確保対策関連事業
355百万円



▶ 介護人材

★介護人材確保に向けた拠点構築事業 15百万円



▶ 保育人材

保育人材確保事業
61百万円



▶ 公共交通

公共交通事業者自動車運転手等確保支援事業
22百万円



豊かな海づくりの推進

677百万円
(R7: 642百万円)

世界の宝石「瀬戸内海」を守り、育て、豊かな海を取り戻す

▶ 現状・課題

- ▶ 温暖化による海水温上昇、貧栄養化により漁獲量が減少
特に備讃瀬戸では底生類の漁獲量減少が顕著



▶ 施策・取組

- ▶ 不漁原因の究明
- ▶ 漁場環境の改善
- ▶ 種苗の安定供給

漁場環境改善活動 18百万円
海底耕うん、海底清掃、イカ産卵床の設置、
藻場造成・保全等（県単独）
実施箇所：備讃瀬戸、燧灘 等



海底耕うんのイメージ図

燧灘

備讃瀬戸

赤潮監視体制の高度化 15百万円
有害赤潮プランクトンの自動監測
実施箇所：屋島湾、志度湾（予定）、引田（予定）

底生生物の生物量調査 5百万円
海底の餌生物（貝類等）の調査等
実施箇所：備讃瀬戸周辺

（全域）水産資源食害対策 15百万円
ナルトビエイ及びカワウの駆除

■ カキ養殖事業者に対する支援

- ・カキ種苗購入費の一部補助（R7.12補正予算）
- ・カキ養殖漁業の継続に必要な運転資金について利子補給

■ 国と連携した原因究明

その他

- 栄養塩類の管理 9百万円
- 種苗生産・放流・技術開発 199百万円

脱炭素社会に向けた地球温暖化対策

3,362百万円
(R7: 3,244百万円)

再生可能エネルギーの導入促進

●かがわスマートハウス促進事業 370百万円

(新築住宅)

○ ZEH

- ・新築約2,800戸/年の半分のZEH化の必要額を計上
- ・補助単価：20万円
- ・子育て世帯、複数世代同居は5万円加算

○蓄電池 (ZEH併用の場合)

- ・補助率：1/10
- ★上限15万円

○ V2H (ZEH併用の場合)

- ・補助単価：10万円

(既存住宅)

○断熱改修

- ・全体改修 (全ての居室及び浴室の窓の断熱改修)
 - ・補助単価：20万円
 - ・子育て世帯、複数世代同居は5万円加算
- ★☆・部分改修 (一居室又は浴室の窓の断熱改修)
- ・補助率：1/2、上限5万円

○蓄電池

- ・補助率：1/10、上限10万円
- ・新たに太陽光発電設備と同時設置する場合、設置に要する経費の1/3 (上限20万円)

○太陽光発電設備

- ・補助単価：8万円/kW (上限45万円)

○V2H

- ・補助単価：10万円

●事業者向け再エネ設備等導入支援事業 82百万円

- ・自家消費型太陽光発電設備 5万円/kW (上限200万円)
- ・省エネ改修 経費の1/2 (上限150万円)

★ペロブスカイト太陽電池導入企業支援事業 3百万円

徹底した排出削減対策の推進

●省エネ県民運動促進事業 12百万円

★県民一人ひとりの脱炭素行動の定着に向けて、身近な脱炭素行動にポイントを付与できるよう「マイチャレかがわ！」に機能を追加

●県有施設LED化推進事業 1,167百万円

- ・県庁本庁舎、県立学校など

吸收源対策の推進

●森林資源の活用 造林事業

200百万円



●ブルーカーボンの活用 藻場造成等

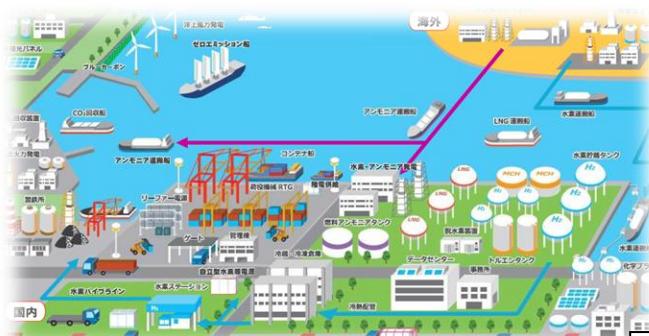
252百万円

脱炭素成長型経済構造への移行促進

●水素エネルギー利用促進普及啓発事業

1百万円

●カーボンニュートラルポート形成支援助成金



にぎわい創出

- ・高松中心市街地プロムナード化等周辺環境整備
- ・サンポート高松地区周辺の観光コンテンツづくり事業
- ・香川ぐるっと周遊・滞在型観光推進事業
- ・ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて！
- ・地域資源の魅力向上・活性化事業

高松中心市街地プロムナード化等周辺環境整備事業

1,288百万円
(R7: 710百万円)

★☆港湾施設利活用検討・促進事業 210百万円

- ★・多目的広場の整備（ハーバープロムナード）
- ★・新たなフォトスポットとしてのモニュメント設置
- ★・港湾緑地を活用したイベントの企画・運営
 - ・フェリー、高速船乗り場建替えに向けた設計など

（イベントイメージ）

多目的広場の整備



■高松中心市街地プロムナード化推進事業①

30百万円

- ・交通誘導員の配置、安全施設の整備、
交通量調査の実施

■高松中心市街地プロムナード化推進事業②

41百万円

- ・検討会議によるさらなるプロムナード化の検討

☆・まちなか直行バスの社会実験

■高松港（玉藻地区）大型クルーズ客船受入施設整備事業

576百万円



■高松港港湾環境整備事業（玉藻地区）

・遊歩道（海側）の整備 23百万円



☆大型プレジャーボート受入施設整備事業

・玉藻地区中央ふ頭周辺における浮桟橋の設置の検討 15百万円



（整備イメージ）

■高松中心市街地プロムナード化推進事業③

393百万円

- ★☆・高松中央商店街に向けた魅力的な歩行空間整備の開始
- ★☆・JR高松駅周辺交差点の信号機の歩車分離運用
- ★☆・玉藻公園南側（桜の馬場南交差点（仮称））定周期式信号機の設置

サンポート高松地区周辺の観光コンテンツづくり事業

438百万円
(R7:378百万円)

★県立アリーナ周辺での夜型観光推進事業 320百万円

- ・プロジェクトマッピング、クリスマスマーケット等の実施



瀬戸内クルーズ事業 16百万円

- ・遊覧クルーズの造成・販売
- ・富裕層向けクルーズの造成に向けたFAMツアーの実施
- ・島クルーズ旅の造成・販売



マザーポートイベント事業 17百万円

- ・県内の島々を結ぶマザーポートの1つである高松港での交流イベントを実施(8月、10日間程度)

★☆スーパーヨット誘致推進事業 9百万円

- ・高松港における専用岸壁整備等を機に、スーパーヨットの誘致活動を実施
- ・寄港地選定に影響力を持つキーパーソン向けFAMツアーの実施



サンポート高松地区ガーデンプロムナードフェスティバル事業 15百万円

- ・毎週、土日祝日のうち1日開催予定(さぬきマルシェ、7・8月、年末年始等を除く)



★サンポート高松地区多目的広場環境整備事業 61百万円

- ・県立アリーナと調和した景観を持ち、多種多様なイベント開催に対応するための環境整備



一層の魅力発信・誘客と周遊・滞在促進で
サンポート高松地区のにぎわいを 県内全域 へ！

県立アリーナ プロジェクトマッピング クリスマスマーケット 令和7年 累計来場者 **113万人超**

★ウェブサイト情報発信強化事業 35百万円

魅力発信・誘客

★旅行会社等と県内観光事業者の商談会を首都圏で新規開催し、本県へのツアー造成等を促進

- ・SNS・インフルエンサーの活用や物産展にあわせたジャック広告で、各地の魅力やツアー情報を発信



★★★ 「瀬戸の玄関口」から始まる
香川ぐるっと周遊プロジェクト事業 44百万円

- ・ 1名から気軽に参加できる県内周遊型のガイド付きツアー
(高松・東讃、中讃・西讃、島しょ部) の造成・販売
- ・ OTAの誘客プロモーションとあわせた周遊促進

周遊・滯在促進

- ☆アートを巡るツアービジネス
6百万円
- アートを巡るバスツアーの造成・販売(東・西ルート)
- 富裕層向けツアービジネスの造成に向けたFAMツアービジネスの実施

島お手伝い旅・島滞在旅事業

- ・地域の方々と連携し、島や地域にちなんだ旅行商品を造成・販売

ユネスコ世界ジオパーク認定に向けて！

★ジオパーク推進事業 7百万円

- ・「瀬戸内」を形成する本県のジオサイトを国内外に発信するため、讃岐ジオパーク構想推進準備委員会と連携し、ユネスコ世界ジオパーク認定に向けた各種取組みを、段階的に実施する。
- ・瀬戸内国際芸術祭との相乗効果を生み出す。

令和8年度の
主な取組み

- ・ジオサイト（地球科学的意義のあるサイトや景観）の選定
- ・全体ビジョン・基本計画の策定 など

瀬戸内国際芸術祭 アートによる価値の創造



瀬戸内の新たな価値の創造

ジオパークとは

地球科学的意義のあるサイトや景観が、保護、教育、持続可能な開発のすべてを含んだ総合的な考え方によって管理された、1つにまとまったエリア

※ユネスコ世界ジオパークは229地域50か国にある(2025年4月現在)

ジオパーク ジオによる価値の創造



写真提供：三豊市観光交流局

地域資源の魅力向上・活性化事業

★ダム周辺施設の魅力向上

39百万円

ダムの魅力発信で地域を活性化

- ・レンタサイクル貸出所、サイクリングロードの整備
- ・フォトフレーム・東屋設置によるビュースポットの整備
- ・地域資源と連携した基本構想策定 など

内場ダム



ダムビュースポットの整備
(フォトフレーム・東屋)



ダム周辺の地域資源と連携した基本計画の策定



ダム湖周遊環境の整備
(レンタサイクル)

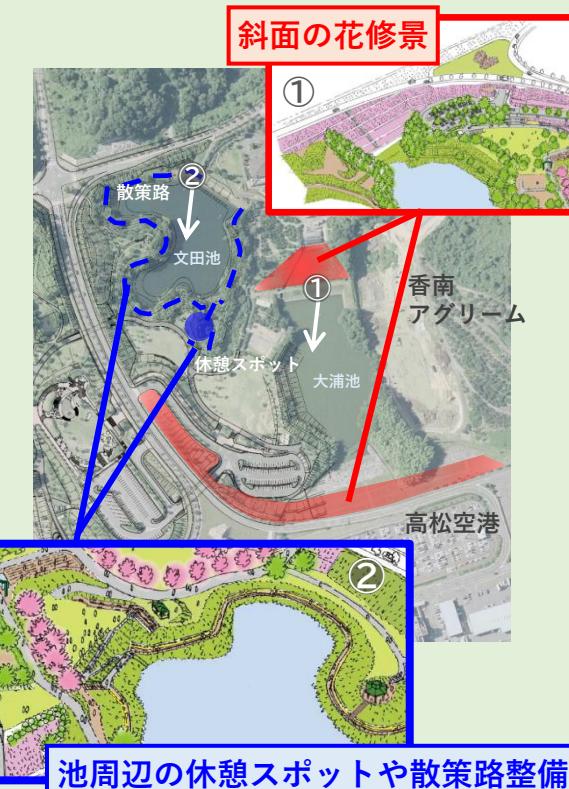
「画像: Copilotにより作成」

さぬき空港公園の魅力向上

222百万円

四季折々の花と親しむ さぬき空港公園

- ・さぬきフラワーガーデンと隣接するカントリーゾーン周辺斜面の花修景
- ・文田池周辺の休憩スポット（観桜桟敷）や散策路の整備
- ・電動モビリティの導入検討 など



斜面の花修景
池周辺の休憩スポットや散策路整備

さぬきフラワーガーデンの整備

102百万円

見える景色を変える!変わる!!

【ハード】

- ・温室エリア再整備基本設計
- ・さぬき空港公園隣接エリア基本設計（一体的な整備）
- ・連絡通路安全施設（転落防止柵）整備



さぬき空港公園
隣接エリア

温室エリア

【ソフト】

- ・園芸教室、キッズラボ等の体験イベント
- ・花き団体と連携した園内装飾
- ・しだれ桜ライトアップイベント



防災・減災対策

新たな地震・津波被害想定を踏まえた防災・減災対策の強化①

R8当初+R7補正：33,751百万円
(R7当初+R6補正：31,066百万円)

➤① 災害対応力強化

★☆災害対策本部機能強化事業 154百万円

県庁本館5階の災害対策本部室や、
12階会議室等を改修



★☆信号柱耐震対策等事業 96百万円 信号柱更新 発電機整備



★☆水門等防災デジタル技術活用 事業 59百万円

デジタル技術を活用した自動化・遠隔監視化等により、持続可能な管理体制の構築

★☆地震・津波対策海岸堤防等整備計画変更事業 70百万円

切迫する南海トラフ地震に備え、「地震・津波対策海岸堤防等整備計画」を変更

■ 地震・津波対策海岸堤防等整備事業

2,123百万円

南海トラフ地震に備え、護岸や防潮壁等の
津波対策等を行ふもの。



整備後

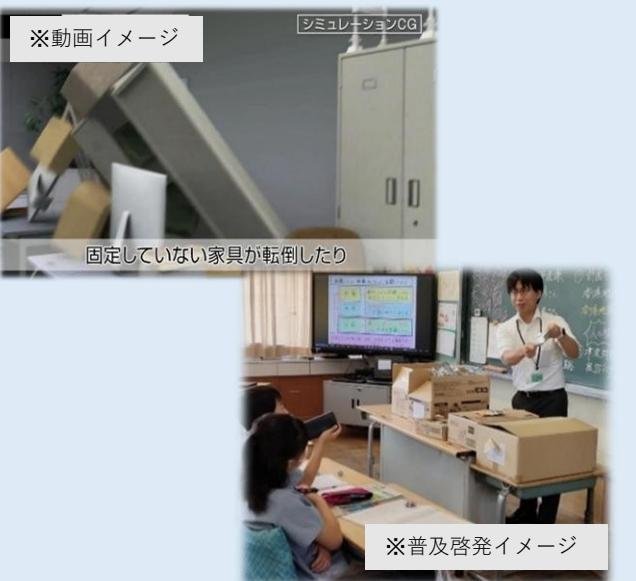
右写真

高松港(朝日地区)
防潮壁の整備

整備前

★ 地震・津波等対策啓発教材制作 事業 10百万円

地震被害イメージや、早期避難等の対策の
必要性を伝える動画と、小学生向けの防災
副読本を制作し、普及啓発



※普及啓発イメージ

■ 地区防災計画策定・避難力強化 促進事業 5百万円

地域の防災活動を定める「地区防災計画」
の策定や、住民一人ひとりの避難行動計画
「マイ・タイムライン」の作成を促進



主な事業を掲載

➤ ③住宅耐震化等

★☆感震ブレーカー設置促進事業 4百万円

通電火災等を防ぐため感震ブレーカーの有効性を普及啓発

分電盤タイプ（内蔵型） コンセントタイプ



■ 民間住宅耐震促進

100百万円

耐震診断、耐震改修の補助

★耐震診断の自己負担を2千円に



■ 幼稚園等備品類転倒防止対策推進事業

8百万円

幼稚園等での備品類の固定器具の取付けを支援



■ 市町災害対応力強化緊急対策推進事業 100百万円

市町による、避難所の生活環境の整備(☆)や、「自助」「共助」の取組強化などに対し経費を補助

- 補助対象：トイレ関係備蓄、暑さ・寒さ対策、家具類転倒防止対策器具・感震ブレーカー購入、防災倉庫整備等への補助



➤ ④ 生活環境の維持

★☆避難所生活環境等整備事業

25百万円

県で備蓄する避難所関連物資を増強



★☆女性地域防災人材養成事業

3百万円

男女共同参画の視点で避難所運営等ができる人材を養成

■ 県立学校体育館空調設備整備等推進事業

1,513百万円

避難所となっている高等学校や特別支援学校の体育館等の空調設備を整備

